

東京都立産業技術
センター
研究セ

繊維向け少数制講座

来春
開講
人材育成支援を強化

【立川】東京都立産業技術研究センター（東京都北区、片岡正俊理事長、03・3909・2151）は、繊維製品関連企業への人材育成支援

を強化する。これまでの大規模なセミナーに加え、少人数制の実践講座を開く。2010年2月に開設する産業支援拠点「多摩テクノプラザ」

（同昭島市）の開所にあわせてスタートし、都内の繊維製品関連企業の総合力を高める。

新講座「ファッションを支えるものづくり技術 in TOKYO」はねん糸といった上流から下流の縫製までの工程を実習する。繊維業界は原材料と人件費の安い海外へ流出しており、さらに染色工程など環境負荷の面で宅地化の進む都内での操業が難しくなっている。

こうした中で参加企業に深い製品提案ができるよう支援する。新入社員研修など企業の要望に合わせた研修会も請け負う。また生産現場から遠いアパレル業者が繊維・織物の工法を学ぶことで、生産技術を含めたデザイナーのできる人材育成も目指す。併せて教材として利用する技術ノウハウを

まとめたハンドブックを出版し技術の普及を進める。